

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年12月18日

計画の名称	岩出市防災まちづくりの推進（防災・安全）											
計画の期間	令和03年度～令和05年度（3年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	岩出市											
計画の目標	<p>岩出市は、和歌山県の北部に位置し、市の南半分は河成段丘の沖積平野を形成しており、市街地が広がり、南端には紀の川が東西に流れている。北部は和泉山脈が東西に連なり、東に向かって標高を上げ山並みを形成している。</p> <p>近い将来、南海トラフを震源とする巨大地震の発生が危惧されており、本市においても、平成25年3月和歌山県公表の南海トラフ巨大地震による震度想定では、概ね震度6強の地震の発生が想定されている。</p> <p>また、平成26年3月には、岩出市全域が南海トラフ地震防災対策推進地域に指定された。</p> <p>また、市北部を横断する根来断層をはじめとする中央構造線を震源とする巨大地震では震度7の地震の発生が予想されており、地震発生初期における住民の生命・身体の保護の強化を迅速に推進する必要がある。</p> <p>こうしたことから、本計画では地震対策として防災基盤の整備を講じ、地域自主防災組織や自治会等と連携し、災害初動期における安全対策を実施することで、住民の生命・身体の安全安心を確保するものである。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	324	A	324	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 令和3年度	中間目標値	最終目標値 令和5年度末
1	<p>指定緊急避難場所である「東公園」の再整備により、災害発生初期の一時避難可能人口を増加させるとともに、新たに備蓄倉庫や耐震性貯水槽を設置することにより、指定緊急避難場所としての機能強化を図る。また、「さぎのせ公園」についても、防災備蓄倉庫や自家発電設備、マンホールトイレを設置することで指定緊急避難場所としての機能強化を図る。さらに、境谷地区においては、山間部集落へのアクセスが市道境谷相谷線のみであり、災害時には孤立集落となる可能性が高いことから、境谷避難場所（仮称）を指定緊急避難場所とし、防災備蓄倉庫や避難路の整備を行う。</p> <p>災害発生初期の一時避難不可人口 収容可能人数 R3当初1,515人 R5末1,800人</p>	285人	人	0人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R03	R04	R05	R06	R07				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	岩出市	直接	岩出市	-	-	地区公共施設等整備(西 国分地区、中島地区、境 谷地区)	防災公園整備 2箇所、避難 場所・避難路整備 1箇所	岩出市						324		-	
												小計						324		
											合計						324			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 岩出市内部において実施	事後評価の実施時期 令和7年度
	公表の方法 岩出市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指定緊急避難場所である「東公園」の再整備により、災害発生初期の一時避難可能人口を増加させることができた。加えて備蓄倉庫や耐震性貯水槽の設置により指定緊急避難場所の機能強化を図ることができた。また、「さぎのせ公園」についても、防災備蓄倉庫や自家発電設備、マンホールトイレを設置したことで指定避難場所としての機能強化ができた。さらに、災害時に孤立集落となる可能性が高い境谷地区においては、防災倉庫や避難路の整備を行うことで指定緊急避難場所として「境谷地区避難場所」を整備することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
自主防災組織や自治会等と連携し、整備した指定緊急避難場所を活用することで、災害初動期における住民の生命・身体の安全確保に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	0人
	最終実績値	0人
		計画どおり目標を達成できた。